

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

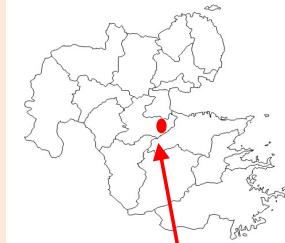
【地区の概要】

- 麦・大豆が主体の中間農業地域
- 高齢化により年々離農者が増加。また恒常に水が少ない地域であり、水稻の栽培が厳しいため、麦・大豆や野菜などの畑作が主体。

【支援内容・背景】

- 市では、水田への高収益作物として、実需者ニーズや収益性の高いハトムギの導入を推進。
- 助成対象者((農)南田代)は、地域内農地の受け皿として、麦・大豆主体の経営を行っていたところ、大豆の栽培に苦慮しており、大豆以外の作物の導入を模索。市の勧めにより、大豆と同作期で高収益が見込めるハトムギをR2年度に導入。収益等の面で助成対象者から高評価を得たことから、今後、離農者増加に伴う農地の受け手のモデルとするため、更なる経営発展を支援。

大分県



由布市南田代地区

助成対象者「(農)南田代」の経営の状況と事業内容

《事業活用の背景》

- 実需の要望に応えるためには更なる数量の確保が必要。
- 実需が求める高品質なハトムギの生産には、適正な栽培管理が必要であり、機械の導入により適期作業を行うことができ、また省力化にも繋がることから、面積拡大が可能。

【経営の経緯】

- 平成14年 集落営農組織の発足
- 平成20年 法人化
- 平成23年 経営改善計画の認定
- 令和 2年 ハトムギ栽培の開始

【事業実施時の状況】

<R元年度>

- 売上高 14百万円
- 経営面積 18.4ha
うちハトムギ 1.9ha
(経営面積はR2年度)

《事業による整備内容》

- 乗用管理機 1台
事業費 4,950千円
(国費 1,485千円)
- ロータリーカルチ 1台
事業費 625千円
(国費 187千円)



【現在の経営状況】

<R4年度>

- 売上高 24百万円 (171%)
- 経営面積 23.0ha (125%)
うちハトムギ 5ha

事業の効果

《対象者》 ハトムギの栽培面積は順調に拡大し、売上高が拡大。

《地区》 離農に伴って増加が見込まれる担い手への受託農地に、新たな作物としてハトムギが普及。